



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society
愛知県支部

日本赤十字社活動資金へのご協力をお願いします。

災害救護



救急法講習



医療事業



社会福祉



青少年赤十字



血液事業



ボランティア



国際活動



看護師養成



日本赤十字社の活動資金へのご協力をお願いします。

日本赤十字社愛知県支部の主な事業について

01

災害救護活動



迅速に医療救護活動を展開するために日頃から近隣県支部や他機関と連携し、様々な想定の際護訓練を重ねています。

02

救急法などの講習



緊急時の手当や事故防止の知識と技術を学ぶ講習会を県内各地やオンラインで開催しています。

03

国際活動



世界191の国と地域で人道支援を行い、救援活動や人材育成を通じて災害や病気で苦しむ人々を支援しています。

04

青少年赤十字



「気づき・考え・実行する」を態度目標に、学校教育の場で世界の平和と人類の福祉に貢献できる青少年を育成しています。

05

ボランティア



ボランティアが講習普及や災害時の炊出しなど幅広く主体的に活動するための支援体制強化に取り組んでいます。

06

医療事業



中村日赤と八事日赤は地域中核病院として機能し、災害時には医師や看護師を国内外へ派遣しています。

07

血液事業



愛知県赤十字血液センターは、献血への理解を広め、安全な血液を医療機関へ安定的に届けています。

08

看護師養成



日本赤十字豊田看護大学は、最先端の看護技術を学び、赤十字の活動を通じて社会に貢献できる看護師を養成しています。

09

社会福祉



地域の課題を把握し、行政や企業と連携して社会活動を展開。また、赤十字健康教室で保健衛生向上に貢献しています。

愛知県支部が新たに取り組む重点事業

重点事業01



子ども・子育て世代の支援

子どもたちが家庭や学校以外で安心して過ごすことのできる「第三の居場所」づくりを中心に、子どもの体験機会の提供や孤立・孤独の解消、子育て支援につながる取り組みを行っています。

重点事業02



高齢者健康生活支援

高齢者の孤立を防ぎ、健康増進に資する環境づくりのため、企業等と連携した外出・移動支援や健康チェックの実施など、社会参加を促す支援を行っています。

重点事業03



多文化共生社会の実現に向けた事業の推進

日本語を十分に理解できない方にも「やさしい日本語」で救急法等の講習を普及するほか、外国にルーツのある子どもたちを対象とした支援事業を、関係機関と連携しながら実施しています。

重点事業04



災害時の被災者支援

医療救護活動に加え、救援物資の配布による生活環境の整備など被災された方を支援します。また、地域の方々や児童・生徒に対して赤十字防災セミナーや防災教育事業を実施し、災害に備えるための取り組みを行っています。

ごあいさつ

平素から赤十字事業の推進に格別のご理解とご高配を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、医療救護班の派遣や救援物資の配布など、全社をあげて支援活動を行いました。当支部におきましても発災当日から活動を開始し、現地への職員派遣や救護班の派遣、救援物資の運搬など支援を行うほか、その後も愛知県内の赤十字ボランティアを派遣するなど、被災地に寄り添った支援を続けてまいりました。

また、平時の活動として、災害発生時に迅速な対応ができるよう様々な想定の訓練・研修を実施するほか、救急法等の講習普及、青少年赤十字、赤十字ボランティアの育成など、地域の方々のいのちと健康、尊厳を守る活動の充実に努めております。

さらに、社会ニーズが一層、多様化・複雑化し、貧困問題や孤独・孤立問題など様々な課題が顕在化している中、地域社会に必要とされる赤十字事業の推進をより一層図っていくために、子ども・子育て世代の支援、高齢者健康生活支援、多文化共生社会の実現に向けた事業の推進、災害時の被災者支援という4つの重点分野を中心に、新たに社会課題に応じた活動を実施しているところです。

本年も地域の課題解決に資する赤十字事業の新たな展開に向けて取り組み、県民の皆様からのご期待に応えるべく尽力してまいりますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社愛知県支部 支部長

大村秀孝

令和7年度予算概要

令和7年度における日本赤十字社愛知県支部一般会計歳入歳出予算の概要をご報告します。

歳入		
内 訳	予算額	
活動資金収入	1,107,000,000 円	80.2%
委託金・補助金及び交付金収入	7,586,000 円	0.5%
繰入金収入・資産収入・雑収入	139,115,000 円	10.1%
前年度繰越金	126,513,000 円	9.2%
合計	1,380,214,000 円	100.0%



歳出		
内 訳	予算額	
① 災害救護事業と救護看護師の養成に	395,348,000 円	28.6%
② 救急法や健康生活支援講習などの普及に	49,955,000 円	3.6%
③ 赤十字ボランティアの活動と育成に	53,781,000 円	3.9%
④ 青少年赤十字の育成と普及に	159,116,000 円	11.5%
⑤ 社会福祉事業などに	28,058,000 円	2.0%
⑥ 血液事業の普及啓発に	5,454,000 円	0.4%
⑦ 国際的な活動に	10,685,000 円	0.8%
⑧ 活動資金募集のために	70,147,000 円	5.1%
⑨ 赤十字の普及・広報活動のために	42,470,000 円	3.1%
⑩ 赤十字病院救急医療体制の整備に※1	145,027,000 円	10.5%
⑪ 市町村における赤十字活動に	121,400,000 円	8.8%
⑫ 全国的な赤十字活動に	131,550,000 円	9.5%
⑬ 支部の運営に	167,223,000 円	12.1%
合計	1,380,214,000 円	100.0%※2

※1 使途が指定された活動資金による事業を含みます。 ※2 端数処理の関係で構成比の合計に差があります。

お寄せいただく資金で上記のような活動を予定しています。

税制上の優遇措置

お寄せいただいた活動資金のご協力は、税制上の優遇措置が受けられます。

個人情報の取り扱い

日本赤十字社(本社及び都道府県支部)は、会費(社費)、寄付金(「海外たすけあい」を含む)、海外救援金、国内災害義援金へのご協力に際して取得する個人情報について、厳重に管理・保護を行うとともに、受領証や活動報告等の送付及び事業資金等の募集活動の目的のためにのみ使用します。



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

愛知県支部

〒461-8561
名古屋市東区白壁1-50
TEL (052) 971-1596

日赤 あいち

検索



赤十字会員加入申込書

活動資金にご協力された方を広く「会員」とお呼びします。

■下記太枠箇所を楷書で丁寧に記入ください。

日本赤十字社の趣旨に賛同し、
下記のとおり活動資金として協力します。

十万	万	千	百	十	円

(ふりがな)

(おなまえ)

(おところ)

□□□-□□□□

2,000円以上ご協力をされた方の情報は登録し、翌年
広報誌をお送りします。登録を希望されない方は下記に
チェックをお付けください。

☐ 登録不要

ご協力いただいた皆さまの個人情報は、赤十字活動資金の募集及び活動報告を
お届けする目的以外に利用、提供はいたしません。

令和 年 月 日

 日本赤十字社 愛知県支部 あて
Japanese Red Cross Society

取扱者

日本赤十字社活動資金(社資)納付方法について

- ◎自治会・町内会加入世帯の方は、地区担当役員
の方にお渡しください。
- ◎今年度は、社員シールは封筒に入っておりません。
- ◎自治会・町内会未加入世帯の方は、下記納付場
所へ納付期限までに納金していただきますよう
お願いいたします。(活動資金へのご協力は強制的
なものではありませんが、是非ともご協力をお
願いいたします。)

※納付場所

- ・弥富市役所福祉課
- ・十四山支所
- ・弥富市社会福祉協議会
(弥富市総合福祉センター内)

※納付期限

令和7年6月2日(月)

【問合せ先】

弥富市役所健康福祉部福祉課
社会福祉グループ

電話:0567-65-1111(内線 164・165)

皆様のご協力を
お願いいたします。

